

M2M/IoTソリューション CONPROSYS NH-FVシリーズとの接続

2018年2月20日
株式会社コンテック

1

接続確認機材

品名	型式	メーカー
表示灯	NHP-FV1	パトライト
M2Mコントローラ	CPS-MC341-ADSC1-111	CONTEC
ノートPC	※1	
LANケーブル	市販品を2本使用。※2	

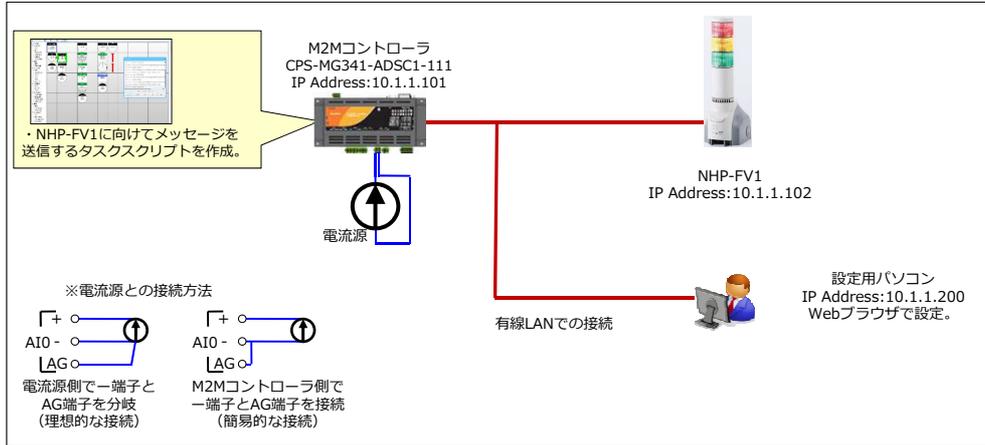
※1 : Microsoft社のInternet Explorer 11.x以降が動作するパソコンを利用しました。

※2 : M2Mコントローラ本体に2つのLANポートが具備されています。それらはHUBモードで設定されており、表示灯とパソコンの2つを接続する場合、HUBを接続する必要がありません。

接続状態

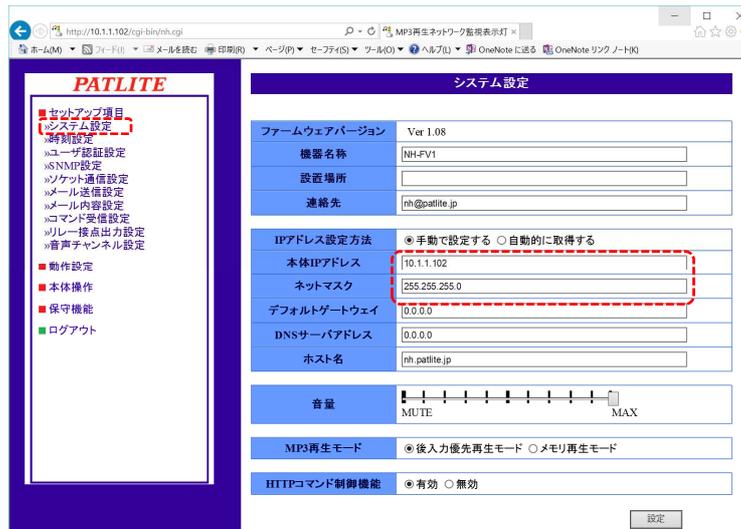
概要

NHP-FV1とM2Mコントローラ、パソコンを有線LANで接続。
M2MコントローラのAI0に接続された電流源から電流を測定し、測定値によって、NHP-FV1の赤、黄、緑を点灯、消灯させます。



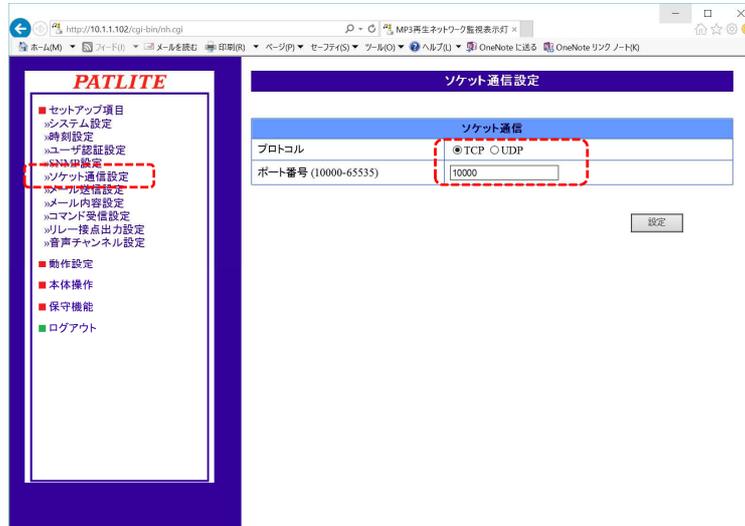
NHP-FV1設定状態

NHP-FV1の IP Address の設定と ネットマスクの設定状態を確認。



NHP-FV1設定状態

CONPROSYSからNHP-FV1へソケット通信を行うので、「ソケット通信設定」のプロトコル、ポート番号の設定状態を確認。

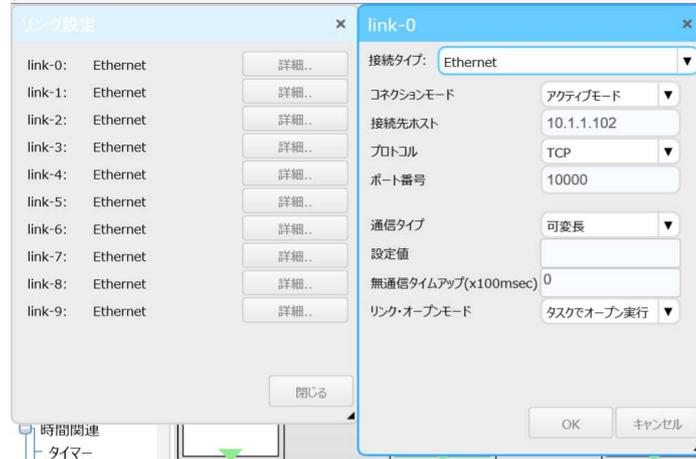


タスクの復元方法

- ① CONPROSYSのタスク編集画面より[ファイル]-[ローカルディスクから開く]を選択します。
- ② ダウンロードしたファイルを展開したフォルダから「task0_xxxxxxxxxxx.dat」を選択し、[開く]をクリックします。
- ③ CONPROSYSのタスク編集画面より[ファイル]-[タスクを保存...]を選択し任意のファイル名：Task0~9の何れかで保存します。
- ④ ダウンロードしたファイルを展開したフォルダから「task1_xxxxxxxxxxx.dat」を選択し、[開く]をクリックします。
- ⑤ CONPROSYSのタスク編集画面より[ファイル]-[タスクを保存...]を選択し③で指定した以外の任意のファイル名：Task0~9の何れかで保存します。

タスクの復元方法

CONPROSYSの Task Editorの画面で[設定]-[リンク設定]を選択し、以下の様に[link-0]について設定を行います。



TAGの割り当てと動作

TAG	TAGの意味	
TAG10	赤の点灯状態	1: 点灯、0: 消灯
TAG11	黄の点灯状態	1: 点灯、0: 消灯
TAG12	緑の点灯状態	1: 点灯、0: 消灯
STAG00	パトライト NHP-FV1	へ送信するPNSコマンドを格納します。
TAG00	AI0の取得データ	AI0に入力される電流0~20mAが0~4095のデータとして格納されます。

TAG00の値が4以下であればNHP-FV1すべて消灯。

TAG00の値が2729以下（約13mA以下）であれば緑点灯。

TAG00の値が3412以下（約16.7mA以下）であれば黄、緑色点灯。

前項を超えると赤、黄、緑点灯し、NHP-FV1本体より「異常が発生しました。」の音声が生が三回再生されます。